

contents

- ・ 創立150周年を控え、新たな時代の医療へ
- ・ 地域連携研修会の報告と次回予告

ご挨拶

創立150周年を控え、
新たな時代の医療へ山梨県立中央病院機構
副理事長

山梨県立中央病院院長

小嶋 裕一郎

山梨県立中央病院の創立は、明治9（1876）年5月29日とされ、来年で創立150周年という大きな節目を迎えます。私が子供の頃には医研と呼ぶ人もいて、歴史を紐解くと昭和26年12月に山梨医学研究所附属病院となり、この時の名残で“医研”と呼ばれていたようです。この長い歴史の中で、私たちは常に医療の進歩とともに歩み、時代の変化に即した医療サービスの提供を追求してきました。150周年を迎える今、私共は、次の時代へと踏み出す決意を新たにしています。

当院では、医療の高度化と多様化するニーズに応えるため、診療体制の強化に取り組んできました。近年では、Walking Operation Room（WOR）、Hybrid Operation Room（HOR）、そしてHybrid Emergency Operation Room（HEOR）の整備を行っています。この中で、HEORは、血管造影装置（アンギオ）、CT、手術室機能を兼ね備えた高度医療を可能とする設備であり、救急外来に直結しております。即座に高度な診断・治療をその場で完結可能で救命率の向上が期待でき、今年度本格的に稼働いたします。これらの取り組みは、当院の“最後の砦”としての医療を支えるための基盤であり、地域の皆さまが安心して医療を受けられる救急体制となっています。地域完結型医療と高度急性期医療の両立を目指す中で、院内の各診療部門および地域医療機関との連携を深めることが必須であり、“下り搬送”を含めた皆さまのご協力をお願いいたします。

また、私たちは新たな挑戦として、AI（人工知能）の積極的活用に取り組んでいます。AI技術を医療現場に導入することにより、効率的な病院運営を進め、医師・看護師・コメディカルの事務作業の負担を軽減し、より多くの時間を患者さんと直接向き合う診療に充てることを目指しています。診療支援ツール、データ分析、電子カルテの自動入力補助などにAIを活用することで、医療の質のさらなる向上と職員の働きやすい環境の整備を進めています。限られた医療資源の中で、デジタル技術を駆使した持続可能な医療提供体制の確立に向けて、今後も不断の努力を重ねて参ります。

現在、当院では職員数が1500名を超え、医療の最前線に立つ職員一人ひとりが、高度な専門性と温かな心をもって、県民の命と健康を守るために日々努力しています。また、次世代を担う医療人材の育成にも注力し、地域に根ざした切れ目のない医療体制の構築を目指しています。

創立150周年という歴史的な節目を契機に、私たちは「未来を創る医療人」としての使命を自覚し、日々の診療・教育・研究に邁進し、職員が“ワンチーム”となり、時代を切り拓いて参ります。今後とも変わらぬ御支援と御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



地方独立行政法人山梨県立病院機構

山梨県立中央病院

YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

患者支援センター

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1-1-1

TEL.(直通)055-253-9000/FAX.(直通)055-251-7733

新任医師の紹介

Introduction of new doctors

Topics 新任医師 の紹介

2025年度より50人の医師が赴任し、外来を担当します。この場を借りて紹介させていただきます。



循環器内科 青沼 謙太

本年度より当院の循環器内科に所属する事になりました、青沼謙太と申します。まだ研修中の身ではありますが患者様に寄り添った医療を提供できるよう、精進して参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



循環器内科 松土 大河

本年度より循環器内科で働かせていただきます、松土大河と申します。誰からも頼られる医師を目指して精進いたしますのでよろしくお願いいたします。



呼吸器内科 井上 拓也

2023年4月から引き続き、本年度も月木の呼吸器内科外来を担当します。よろしくお願い致します。



呼吸器内科 篠原 健

今年度より山梨県立中央病院に赴任しました篠原健と申します。患者さん一人ひとりに寄り添った診療を心がけてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



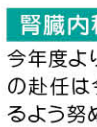
消化器内科 芦澤 浩

5年ぶりに県立中央病院消化器内科で勤務させていただきます。前任の静岡がんセンターでは3年間消化管癌の診断・治療に従事し、特に早期癌に対する内視鏡治療（ESD）を重点的に学ばせていただきました。これまでの経験を活かし、患者様それぞれに最善の治療を提供できるよう日々努める所存ですので何卒よろしくお願い致します。



消化器内科 村田 智祥

消化器内科に赴任しました村田智祥と申します。山梨県の医療に貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。



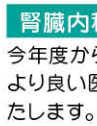
腎臓内科 佐藤 泰代

今年度より腎臓内科に赴任しました佐藤泰代と申します。県立中央病院への赴任は今回で2度目となります。患者さんに寄り添った医療を提供できるよう努めてまいります。



腎臓内科 塚本 道彦

本年度4月より山梨県立中央病院腎臓内科で勤務させていただきます。塚本道彦と申します。患者様1人1人に寄り添った医療を心がけてまいります。何卒よろしくお願い致します。



腎臓内科 望月 諒

今年度から着任いたしました。患者さんに寄り添い、日々学び続けながら、より良い医療を提供できるよう努力いたします。どうぞよろしくお願い致します。



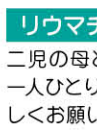
糖尿病内分泌内科 石井 玲央

今年度より、当院糖尿病・内分泌内科に所属させていただきます石井玲央と申します。一人一人の患者様に寄り添いながら診療を行わせていただきます。よろしくお願い致します。



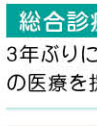
糖尿病内分泌内科 田中 和正

糖尿病内分泌内科の田中和正と申します。出身は東京で、大学入学を機に山梨に移りました。若輩者ですが、地域医療に貢献すべく邁進してまいります。



リウマチ・膠原病科 原間 紀美絵

二児の母となり、5年ぶりに県立中央病院に帰って参りました。患者さん一人ひとりを一層大事に、山梨の膠原病診療に尽力したいと思えます。宜しくお願い申し上げます。



総合診療科・感染症科 吉川 美佐子

3年ぶりに山梨県立中央病院で勤務させていただきます。患者さんのための医療を提供できるよう努めてまいります。よろしくお願い致します。



総合診療科・感染症科 中土居 祐太

甲府共立病院で内科研修を修了し、今年度から感染症専門研修のため着任しました。専門領域の学びを深め、診療に貢献できるよう頑張りますので、どうか宜しくお願いします。



総合診療科・感染症科 小林 幸聖

4月より総合診療科に所属しました小林幸聖と申します。患者さん一人一人に寄り添った診療を心掛けていきたいと思えます。よろしくお願い致します。



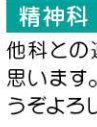
総合診療科・感染症科 根岸 凜太郎

本年度より総合診療科に所属いたします根岸凜太郎と申します。幅広い分野で活躍できるよう精進してまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



総合診療科・感染症科 渡辺 絢香

今年度より総合診療科に所属となりました渡辺絢香と申します。研鑽中の身ではございますが山梨県の医療に貢献できるよう尽力致します。何卒よろしくお願い申し上げます。



精神科 中島 望

他科との連携をしながら患者様に寄り添った診療を心がけていきたいと思えます。また、山梨県の医療に貢献できるように努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。



精神科 桶屋 こむぎ

北病院から配属になりました、桶屋こむぎと申します。3か月という短い期間ですが、困ったときに気軽に相談できるフットワークの軽い医師を目指して頑張ります。



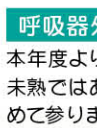
乳腺外科 岡 知美

4月より乳腺外科へ赴任いたしました、岡知美と申します。患者様お一人おひとりと真摯に向き合うような診療を心掛けてまいります。よろしくお願い致します。



呼吸器外科 清水 駿介

本年度より呼吸器外科に赴任いたしました清水駿介と申します。山梨県の医療に貢献できるように日々精進してまいります。よろしくお願い致します。



呼吸器外科 名取 優里

本年度より呼吸器外科に所属となりました名取優里と申します。まだまだ未熟ではありますが、患者様に寄り添った医療を提供できるよう精一杯努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。



胃食道外科 河西 浩人

Acute Care Surgery（急性期外科）の修練のため、2回目の外科研修を行うこといたしました。悪性腫瘍、良性疾患、外傷などの垣根を越えて皆様のお役に立てればと考えています。

**胃食道外科 宮崎 葵**

本年度より、消化器外科に赴任いたしました。県内のへき地医療に従事した経験を活かし、当院から山梨に医療の灯をともしたいけるよう精進して参ります。

**消化器外科 千野 俊春**

消化器外科専攻医として研修することとなりました、千野と申します。患者様やご家族に寄り添った医療を提供すべく、精進してまいります。

**整形外科 三井 康平**

今年度より県立中央病院整形外科に赴任しました、三井康平です。地域の方々に貢献できるよう日々精進するよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

整形外科 弦間 崇

今年度整形外科へ所属させていただいている弦間崇と申します。整形外科歴は3年目です。駆け出しものではございますが何卒よろしくお願いいたします。

**形成外科 中嶋 ひかり**

これまで様々な病院で研修を行い、一般形成外科を学んできました。特に乳房再建に興味があり、もっと多くを学んでいきたいと思っています。これからよろしくお願いいたします。

**泌尿器科 姫野 正敬**

本年度から山梨県立中央病院泌尿器科に赴任しました姫野正敬と申します。患者様の抱える困難にともに立ち向かえるよう精進して参りますので何卒宜しくお願いいたします。

泌尿器科 上野 優拓

本年度より山梨県立中央病院泌尿器科に赴任しました上野優拓と申します。山梨県の泌尿器科治療に貢献できるよう精進してまいります。何卒宜しくお願い致します。

眼科 福永 謙吾

昨年度に引き続き、本年度も当院にて勤務させていただきます。眼科一般を担当しております。どうぞよろしくお願いいたします。

**耳鼻咽喉科 渡邊 大輔**

本年度より山梨県立中央病院耳鼻咽喉科に赴任しました渡邊大輔と申します。地元山梨の医療に貢献できるよう日々精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

**皮膚科 柴垣 裕**

今年度から着任いたしました。患者様に寄り添い、日々学習を続けながら、より良い医療を提供できるよう努めます。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

口腔外科 高橋 賢

本年度より口腔外科に配属しました高橋賢と申します。山梨県の医療に少しでも貢献できるよう精進していきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

**婦人科 内田 光紀**

昨年10月より県立中央病院婦人科に赴任いたしました内田光紀と申します。患者さんに寄り添った診療を心がけていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

**婦人科 深田 直希**

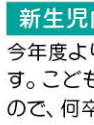
今年度より県立中央病院婦人科に赴任いたしました深田直希と申します。患者様に寄り添った診療を心がけていきたいと思っております。気軽に相談ください。どうぞよろしくお願い致します。

**産科 牧野 加奈**

今年度より産科に赴任いたしました牧野加奈と申します。患者さんとそのご家族に寄り添った診療を心がけ、出産という大事な瞬間の応援ができればと願っております。

**産科 中山 敬登**

本年度より産婦人科に赴任いたしました中山敬登と申します。山梨の産婦人科医療に貢献できるよう尽力して参ります。宜しくお願い申し上げます。

**新生児内科 神山 真弓**

今年度より山梨県立中央病院新生児内科に所属します、神山真弓と申します。こどもたちやご家族が元気に楽しく過ごせるよう精進してまいりますので、何卒よろしくお願い致します。

**新生児内科 長井 陽汰**

本年度より新生児内科に赴任しました専攻医1年目の長井陽汰と申します。お子さんたちをサポートするため日々精進してまいりたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

**小児科 深尾 俊宣**

山梨県で生まれ育ち、県内で小児科医として勤務して10年経過しました。特に神経疾患を専門としていますので、ご相談ください。

**小児科 萩野 嶺花**

今年度より小児科に赴任しました萩野嶺花と申します。来院するお子さんが健やかにご家庭での生活に戻れるようにサポートしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

**小児科 古荘 早希**

本年度より小児科に赴任しました専攻医1年の古荘早希です。未熟者ではありますが、少しでもお子さんと親御さんを笑顔にできるよう精一杯努めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

**麻酔科 小松 夏樹**

昨年無事専門医試験を合格し麻酔科医として勤務させていただくことになりました。手術を受けられる患者様の早期社会復帰をお手伝いできるよう邁進してまいります。

**麻酔科 久家 章宏**

今年度より麻酔科に赴任いたしました久家章宏と申します。まだ勉強中の身ではありますが、山梨県立中央病院で様々なことを学び、山梨県の医療の発展に貢献できるよう精一杯努めさせていただきます。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

**病理診断科 荻野 慧人**

本年度より病理診断科に赴任しました荻野慧人と申します。病理診断を通じて、山梨県の医療に貢献できるように精進してまいります。よろしくお願いいたします。

**高度救命科・地域連携科 五十嵐 遼**

高度な外傷診療と広範囲な病院前救護（ドクターヘリ・カー）を経験した今年度より就職致しましたので宜しくお願い致します。サッカーが一緒にできる方も募集中です。

**高度救命科・地域連携科 峯平 紗耶香**

本年度より山梨県立中央病院の救命救急センターに赴任した峯平紗耶香と申します。山梨県の地域医療に貢献できるように頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**高度救命科・地域連携科 宮川 洋平**

日本医科大学救急科専攻医の宮川と申します。山梨県の救急医療に従事できる事に感謝して勤務します。半年間どうぞ宜しくお願い致します。

**高度救急科・地域連携科 土屋 翔平**

今年度より救急科所属となった土屋翔平と申します。山梨県の救急医療に貢献すべく、全身全霊で診療して参ります。研鑽の身ではありますが、何卒よろしくお願いいたします。

地域連携研修会が開催されました

「がんゲノム医療をもっと身近に ～がん相談支援センターの取り組み～」

2.28 FRI



山梨県立中央病院がん相談支援センター
齊藤 亜弥子 副看護師長

当院ではがんゲノム医療の推進に努めています。がんゲノム医療は、がん細胞の遺伝子（ゲノム）の変化を調べることで、その特徴に合わせた治療を行う医療です。具体的には、がん遺伝子パネル検査を用いますが、必ずしも治療法が見つかるわけではなく、検査のタイミング等の相談が必要です。このような内容を含め、がんゲノム医療と当院のがん相談支援センターの取り組みについて講演しました。がん相談支援センターでは、患者さんやご家族、地域の方々など、どなたでも利用ができ、がんの治療を受けるうえでの不安や悩み、療養生活や仕事のことについて相談していただけます。

4.21 MON

「IBD診療ガイド for 地域連携 ～どう診る？どこまで診る？いつ専門医へ～」



山梨県立中央病院 消化器内科 炎症性腸疾患科部長
浅川 幸子 医師

4月21日消化器内科浅川幸子医師より「IBD診療ガイド for 地域連携～どう診る？どこまで診る？いつ専門医へ～」の講演していただきました。当院は山梨県内の炎症性腸疾患患者の約70%を診療しています。基本的な治療で効果が乏しい場合や重症例が疑われる場合、早期に消化器内科専門医やIBDセンターへ紹介していただきたいと発信がありました。特に、生物学的製剤の導入や外科的治療の検討が必要な際は、遅れずに専門医に相談することが重要であり、IBDの治療戦略としては患者とよく話し合い、ターゲットを決め、チームで治療することが最も重要であると講演していただきました。

3.12 WED

「CKD診療の歩みと現況」



山梨県立中央病院 副院長 腎臓内科
若杉 正清 医師

山梨県の透析患者数は全国と比較して多く、その原因疾患として糖尿病性腎症が多いという現状があります。県内の腎臓病に関わる医療従事者が一丸となってCKD（慢性腎臓病）対策を行い、透析導入患者を減少させることができました。

当院は県内で最も多くのCKD患者を診療し、早期から終末期まで切れ目のない診療を行っています。さらに、当院では腎臓病教室を実施しており、予約なしで誰でも参加可能です。ぜひ患者さんやご家族へのご案内をお願いいたします。また、透析医療に依存している腎不全患者が、異種移植に移行する可能性についても、講演で紹介されました。

次回研修会

Web研修会

Zoomでの開催

日時：6月24日(火) 18:30～19:30

当院における 入院患者に対する嚥下診療

山梨県立中央病院 耳鼻咽喉科 上條 青依 医師

紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、かかりつけ医によるFAX予約ができます。 **FAX. 055-253-2903**

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。

体調に変化があったときはかかりつけ医に相談の上、紹介状（診療情報提供書）を持って受診してください。

紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

電話予約の流れ

1 かかりつけの 医院を受診

紹介状をもらってください

2 専用ダイヤルにお電話

以下にお電話ください

☎055-253-7900

9:00～17:00 月～金（祝祭日除く）

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③当院の診察券（お持ちの方は）

お電話前に
準備して
ください

3 受診当日

ご予約30分前に総合案内にお越しください

お持ちいただく物

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③保険証 ④当院の診察券
⑤受給者証（老人医療、公費等該当する方）

MRI検査（放射線診断科）の予約について

下記をご確認の上、ご予約をお願いいたします。

体内金属の有無についてご確認いただき、診療情報提供書に記載をお願いいたします。

「MRI対応ペースメーカー」が留置されている患者様は、適応判断のため検査前に当院ペースメーカー外来（循環器内科）の受診が必要になります。



詳細は当院ホームページ（QRコード）をご確認ください。

当連携だよりは、再生可能電力（CO2排出排出ゼロ電力）で印刷されています。

